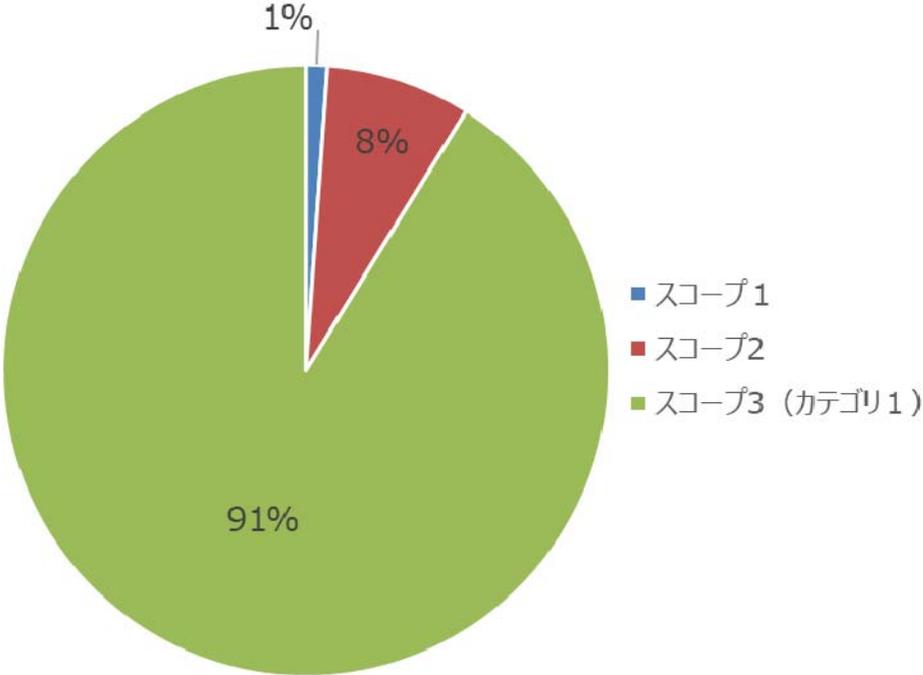


# 株式会社大川印刷

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：製造業（その他製品（オフセット印刷））</li><li>● 事業概要：横浜で明治14年創業、大川印刷は本業を通じて社会的課題を解決する会社を指針に掲げて数多のCSR活動を行っています</li><li>● 事業規模：資本金20百万円、従業員数34名</li></ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 目標 Scope2を2019年までに2017年基準の100%を削減 (取組として、Scope2を2019年までに2017年基準の100%再エネ化を実施する。具体的には、本社工場で使用する電力のうち一部を太陽光パネルを設置し自家消費行い、残りの電力については、購入電力を再エネ電力メニューに切り替える。Scope1については車両の燃料転換（再エネ化）等を検討する。)</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; Scope3カテゴリ1：2030年に2017年比で100%削減 (サプライヤーとの連携により、各社の再エネ電力(株)みんな電力)の使用推進、印刷用紙のリサイクル推進等に取り組む。)</p>

# 株式会社大川印刷

項目	内容	
3.基準年 (2017年) のGHGイン ベントリ[数値 は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul>  <p>※スコープ3についてはカテゴリ1についてのみ把握。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 24.5 [tCO2] (任意)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 164.7 [tCO2] (任意)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 (カテゴリ1) : 1,914 [tCO2] (任意)</li> </ul> 目標の対象セクター : カテゴリ1

# 株式会社大川印刷

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社の主要顧客は、品質劣化や原材料のコスト上昇などのリスクに対して敏感であり、当社に対して、品質・コストそして、ゼロカーボンプリントの取組からGHG(温室効果ガス)削減など様々なサステナブルな取組を当社に期待していると想定しています。</li> <li>● 自社やサプライヤーの再エネ使用の促進や安価な再エネが普及すれば、エネルギーコストの削減が実現できれば、お客様の生産や調達のリスクの削減につながります。</li> <li>● 再エネ100%工場で生産した製品(ゼロカーボンプリント)の普及が促進されることや率先して自社がSBT目標に取り組むことによる外部企業評価の向上が期待されます。</li> </ul>
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社の経営の中で気候変動のリスクと機会を位置づけるため、中長期CO2削減目標の策定を計画。</li> <li>● SBT水準の目標設定により、取引先への削減要請に応えることができ、ビジネスチャンスが拡大することを期待しています。</li> </ul>

# 株式会社大川印刷

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 経営者及び経営改善会議メンバーで目標案を検討。経営改善会議においては、各部門別に温暖化のリスクと機会を検討したことで、野心的な全社目標の必要性を共有できた。その後『再生可能エネルギー100%印刷プロジェクト』として朝礼発表を行い、社内コンセンサスを得た。</li><li>● 目標の実現可能性について社内で意見があったが、2030年時点の事業環境の変化は見通せないことや社会的要請に応じてバックキャストで目標を設定するという方針を説明し、理解を得た。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope 1・2の削減において、再エネ電力及び太陽光パネル発電を自家発電して活用し、持続的な供給について検討していく。</li><li>● Scope3のカテゴリ1の削減目標の達成のために、サプライヤーとの協働と提案を行い、進捗を管理するためのデータの収集など課題抽出して検討する。</li></ul>